

第16回環太平洋原子力会議（PBNC）への招待：ホームページ <<http://www.pbnc2008.org>>



目的： 本会議は、環太平洋地域をはじめとする世界各国・地域の原子力平和利用開発の一層の推進と原子力技術の有用性に対する理解促進を目的としています。

会議： PBNCは1976年にハワイで米国原子力学会（ANS）の主催で第1回会合が開かれました。その後ほぼ2年に一度、環太平洋諸国で開催されています。

1988年にはPBNCの準備・開催主体となる環太平洋原子力協議会（PNC）が設立されましたが、暫くはANSの主催で会議は実施されてきました。その後、PNCの組織と会議運営体制が徐々に確立されたことから、PBNCは徐々にPNC主催へと移りました。

日本は1989年に、原子力学会（AESJ）と原産協会（JAIF）がPNCのメンバーに加わり、PNCの諸活動に協力しています。これらの経緯や過去の会議開催実績などの詳細は下記のPNCのホームページから参照下さい。      こちらから

PNCホームページ： <[http://www.pacificnuclear.org/pnc/homeframe\\_pnc.html](http://www.pacificnuclear.org/pnc/homeframe_pnc.html)>

本年（平成20年）は第16回PBNCの開催が、青森市の青森市文化会館とホテル青森を主会場として10月13日～18日にかけて、計画されています。      こちらから

本年度開催の第16回PBNCホームページ： <<http://www.pbnc2008.org>>

前回の第15回PBNCはオーストラリア・シドニーで開催されましたが、当原産協会は日本語のパンフレットを作成し、同大会を支援・協力しました。      こちらから

第15回PBNC日本語パンフレット： <[http://www.jaif.or.jp/ja/news/2006/PBNC2006\\_01.html](http://www.jaif.or.jp/ja/news/2006/PBNC2006_01.html)>

補足説明）PNCとPBNCとの位置付けとして、第15回PBNCの案内書では以下のように紹介されています。参考としてください。

第15回PBNC案内書より抜粋：”The PBNC occurs every two years and is the preeminent nuclear industry event held under the direction of the Pacific Nuclear Council (PNC).”

なお、原子力百科事典・ATOMICAには、環太平洋原子力協議会（PNC）についての解説がなされており、以下より参照できます。

ログインID・パスワードが必要です。      こちらから

ATOMICAでのPNC・PBNCの説明： <[https://219.109.2.236/atomica/13/13010309\\_1.html](https://219.109.2.236/atomica/13/13010309_1.html)>

以上